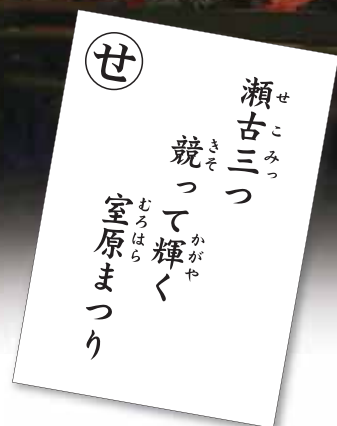




養老かるた
シリーズ

『令和元年開催の室原祭』

定例会での主な質疑内容	2
常任委員会・予算特別委員会報告	3
令和5年度決算を認定	4
こんなことが決まりました	8
町の考えを問う(7議員が一般質問)	8
あれから「留守家庭児童教室」は どうなったんやあ～	14
議会ニュース	14
未来へつながれ養老町(第4回)	16
子どもの声(第5回)	16

9月

定例会



議会QRコード



マチイロ
スマホでようろう議会だよりが読めます

未来へつながれ 養老町 第4回

養老町で活躍する団体の活動内容等をご紹介します。

★ 空色のうた ★

地元養老町で幼なじみと共に「空色のうた」を立ち上げました。養老町内の小中学校に、役者、ダンサー、音楽家、舞台スタッフを派遣し、学校芸術観覧会を実演しています。

令和5年度より芸術家のアウトリーチ事業を開始したところ、各学校より評価していただき、本年度は養老町をはじめ、大垣市、海津市、関市、安八町、豊田市の小中学校9校へ、ダンサー、役者、アーティストを派遣して、学校と連携を図りながら、演劇や身体表現のワークショップ授業(文化庁コミュニケーション能力向上事業)を開催しています。



現代社会において、知能検査や学力検査では測定できない能力、非認知能力を高めることが重要だといわれています。非認知能力とは、やる気、忍耐力、協調性、自制心など、人の心や社会性に関係する力を指しており、自分を動機づけて高めようとしたり、自分の感情をコントロールしたりしながら、自分と他者を大切にできる非認知能力の育成が、変化の激しい社会の中で求められています。

「空色のうた」では、このような非認知能力を高めることができる授業を、一般社団法人世界劇場に依頼し、コーディネートして教育現場に提供しています。

令和7年度においては、関市教育委員会、土岐市教育委員会と連携し、非認知能力を高めることができる授業の計画、各学校の負担が軽減できるような取り組みを協同で計画しています。



○代表者の紹介

加代雅楽(雅号) 養老町在住 お問い合わせ先 090-7314-0737

20代に舞台の世界に入り、舞台芸術の研鑽を積む。演劇、クラシックバレエ、マイム、clown(大道芸)などを融合して、コンテンポラリー、パフォーマーとして活動。一方で、船戸クリニックにて理学療法士としても勤務。



大人のみならず、町内の子どもたちにも議会を身近に感じてもらい、興味を持って頂けるよう、子どもたちの素直な意見が聞けるコーナーです。今回は町内小学6年生にお願いしました。

僕は、森が好きです。なぜ森が好きかというと、カブトムシやクワガタムシがいるからです。この夏、弟と何度も昆虫探しをしました。アブラゼミやニイニイゼミ、バッタやカマキリ、たくさんの昆虫を見つけました。特に学校にある桜の木の幹に、たくさんのクワガタムシがいたことに驚きました。

また、養老町は星がきれい、たくさんの星座がはっきり見えます。8月の星空観察会や理科の時間に、その話で盛り上がりました。

僕は養老町へ引っ越してきたので、みんなよりも余計に夜空の美しさに驚いているのかもしれません。自然豊かで人情豊かな養老町、これからも住みよいまちづくりをよろしくお願いします。

(上多度小6年 T.Nさん)

議会だより編集特別委員会

委員長 西脇 康 副委員長 佐野 伸也 委員 野村 永一 委員 早崎 百合子 委員 岩永 義仁

「わたしの声」を待っています。
役場ロビーに意見箱を設置してあります

「わたしの声」
の宛先は

〒503-1392 養老町高田798番地 養老町議会事務局内
TEL (0584) 32-5084(直通) FAX (0584) 32-1812
メールアドレス:14gikai@town.yoro.gifu.jp

260
古紙パルプ配合率60%再生紙を使用